

## 物流配送における CO2 削減を加速 物流配送において排出される CO2 を 2017 年度対比 12.8%削減

株式会社ファミリーマート（本社：東京都港区、代表取締役社長：細見研介、以下「ファミリーマート」）は、2030 年までに 2017 年度対比 30%の CO2 排出量削減を目標に掲げ、物流配送における CO2 削減を積極的に推進しています。AI を活用した配送シミュレータによる配送コースの設定やクリーンディーゼル車両や FC（燃料電池）小型トラック、RD（リニューアブルディーゼル）を使用した環境配慮型配送車両の導入など多岐にわたる取り組みの推進により、2024 年度の物流配送において排出される CO2 は、2017 年度対比で **12.8%削減**となりました。引き続き、物流配送における CO2 削減を推進してまいります。



### ■ CO2 削減に向けた取り組みを推進

#### ① AI を活用した配送シミュレータによる配送コース数の設定

2022 年 10 月から弁当やサンドイッチなどの定温・チルド配送から AI を活用した配送シミュレータの運用を開始し、2023 年 10 月からアイスクリームや冷凍食品などの冷凍配送、2024 年 6 月から加工食品・ドライ飲料などの常温配送に導入し、店舗配送の最適化に繋がっています。

効率的なルート設定によって配送コースや配送車両台数が約 10%削減されるとともに、2017 年度対比、走行距離で約 5,300 万キロ（約 20%）を削減いたしました。

#### ② クリーンディーゼル車の導入

2019 年 9 月から排出ガス規制をクリアしたクリーンディーゼル車への入れ替えを推進しており、2025 年 2 月末までに約 2,300 台の配送車両の入れ替えを実施してまいりました。

#### ③ FC（燃料電池）小型トラック・RD（リニューアブルディーゼル）など環境配慮に対応した配送車両・燃料の導入

FC 小型トラック：2021 年 11 月から FC 小型トラックの導入を開始し、2025 年 5 月末で 17 台の配送車両が走行しております。※なお 2023 年以降の本取り組みは、NEDO（国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構）の助成事業「グリーンイノベーション基金事業／スマートモビリティ社会の構築」として実施されています。

RD：2021 年 6 月から配送センターの一部車両で軽油の代わりに、リニューアブルディーゼルを使用した配送車両の運用を実施し、2025 年 2 月末で 3 台の配送車両が走行しております。

#### ④他社との協業推進

2024 年 2 月からコカ・コーラ ボトラーズジャパン株式会社（本社：東京都港区）と神奈川県海老名市・厚木市エリアにおける配送において、車両の共同活用を開始しております。両社で車両を有効活用し、新規に使用する配送車両の削減を図るとともに、車両の安定稼働に繋げております。

ファミリーマートは、今後も以下の取り組みを強化することで、物流配送における CO2 排出量削減を積極的に推進してまいります。

配送コースの効率化：配送シミュレーションの精度向上や、配送ルート最適化を進めます。

環境配慮型車両の導入：FC 小型トラック、EV など環境配慮に対応した配送車両の導入を推進し、最新技術の活用を進めます。

他社との協業・連携：更なるパートナーとの協業や異業種との連携による共配体制の構築を目指します。

配送回数の最適化：配送頻度の見直しや、物量の平準化による物流配送の最適化に取り組みます。

ファミリーマートは、持続可能な社会の実現に向けて、物流配送における CO2 排出量削減に貢献し、環境負荷低減に積極的に取り組んでまいります。

以上